(4) 記念誌発行事業

40周年記念誌部会は、記念誌作成事業を通じて、城山町の地域づくりや魅力づくりを行うことを目的に活動を行ってきました。城山町の現状と課題を把握し、町民がつながることの大切さを共有して、次につないでいくための記念事業とすることを目指しました。記念誌の概要は以下のとおりです。

① 40周年記念事業の紹介

記念事業やワークショップ、イベント等を記録し紹介。

② 公民館活動団体の歩み

公民館で活動している団体の歩みや現在の活動を紹介。

③ 城山地域活動団体の紹介

地域で活動している団体の歩みや現在の活動を紹介。

④ 城山町過去10年間のデータ収集

城山町の人口構成、世帯数の推移、役員等のデータを収集。

⑤ 「ひとことふたこと」の掲載

城山町に住み続けている方々の意見・思い・感想などを掲載。

4. 実行委員会の開催

(1) 第1回 令和2年10月17日

40周年記念事業実施の是非などを議論し、予算の面で懸念があるが、①将来を見据えた町づくりの課題を解決する取り組み、②町を元気にする取り組み、③記念誌の発行、④その他の事業、を令和3年度及び令和4年度で実施する方向を確認しました。記念誌は、確保できた予算に応じて作成することに決まりました。

(2) 第2回 令和2年12月12日

世話人の大宮登さんたちがまとめた「城山町ヒアリング調査報告書」(令和2年3月)をもとに、「これからの地域づくり－城山団地の調査をめぐって」と題して話題が提供され、出席した委員の間で意見交換をして、城山の現状と課題を共有しました。

(3) 第3回 令和3年5月15日

高崎市の生き生き地域づくり推進事業の補助金交付を前提に、①補助事業部会、②記念誌部会、③環境整備部会、④情報発信部会の4つの部会で活動する事業実施計画を策定しました。また、実行委員会規約を制定し、役員を選出して各委員の担当を決めました。

(4) 第4回 令和3年11月24日

各部会の進捗及び今後の予定について検討しました。特に、記念誌の広告及び協賛金の募集、生き生き地域づくり推進事業の補助金申請に注力することを話し合いました。

(5) 第5回 令和4年5月14日

高崎市の生き生き地域づくり推進事業の補助金交付が決定し、町内負担金及び広告・協賛金を合わせると、計画した収入金額を確保できたことから、正式に各部会の事業実施を決定しました。

この実行委員会のほか、世話人会や各部会の会議を繰り返し開催しました。

(田中 茂夫)